



創立120周年記念式典での北島建孝実行委員長（高校29期）〔2018年10月20日（土）〕



編集・発行
 島根県立大社高等学校内
いなさ会事務局
 電話 (0853) 535039番
 郵便振替口座 01310-5-18808

新しい令和の時代を迎えました。この時代も明るく和やかなものであってほしいと思います。いなさ会も皆様のご協力を頂きながら活動ができることを有難く思います。

さて、高校時代を思い出す時、些細な光景が忘れられず長く覚えておくことができると思います。自分の将来を左右するような大げさなものではなく、どうでもよいようなことを、いつまでも覚えておくことがあるのではないのでしょうか。例えば友人とのバカ話だったり、放課後の教室の風景など、映画の一コマのような感覚で覚えている光景があるのではないのでしょうか。私も色々な光景を覚えているのですが、一つ紹介します。

思い出のスクリーン



いなさ会会長

北島 建孝たけのり

三年生の時、放課後友人と二人で廊下を歩いていました。ふと、掲げてある扁額が目に入り、何気なく見ていました。特に興味があった訳ではなく、たまたま目が行った程度だったのです。その時、丁度、国語のK先生が通りかかれ、その言葉（論語だったのですが）を読み下され、大意と揮毫した人の名前も教えて下さいました。私達は「へー」などと、今思えば先生に対しての受け応えとしては恥ずかしい態度だったと思いますが、K先生はそのようなことは意にも介さず、にこやかにその場を離れました。

ただそれだけのことですが、卒業しても何故か時々その光景を思い出していました。在学中私は、自分ながら授業を受ける態度も良くなく、従って成績は良からう筈もなく、先生方には多分疎まれていたと思っていました。しかし、時折この光景が思い出されるといことは、一方的ですが、私は先生方に自分が思うほど嫌がられてはいなかったのではないかと考えるようになってきました。そしてひいては、そこそこの良い高校時代を過ごせることができたのだと、改めて思えるようになりました。

高校の門を出てから、どれだけの人と会い、どれだけの人を傷つけ、どれだけのことを投げ出し、どれだけの人に迷惑を掛けたか計り知れませんが、その都度自己嫌悪に陥ることもしばしばでしたが、この何気ない光景を思い出ただけで、何故か頑張



ご挨拶

第43代 校長

古居 晃あきら

この春の人事異動により矢上高等学校からまいりました古居晃と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

いなさ会の会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご支援を賜りますこと心より感謝申し上げます。本校は、昨年に創立百二十周年を迎え、様々な関連記念行事を開催いたしました。また、環境整備事業として、特別教室にプロジェクト・スクリーン・実物投影機等を整備していただきました。これもひとえに、いなさ会の皆様方のご支援の賜と心から感謝申し上げます。大切にそして有効に使用させていただき、生徒の主体的・対話的で深い学びの促進にあたりたいと思います。

さて、本年度は少子化により、一年生の普通科が一クラス減となり（二・三年生は普通科六クラス、体育科一クラス）体育科一クラスとあわせ一学年六クラスとなりました。平成の初め頃は一学年十クラスあり、生徒数も一千二百人の県内有数の大規模校でしたが、今年度は七百六十人ほどとなりました。これは、本校だけに限ったことではなく、一部の都会地を除いて全国的な傾向です。生徒数は減少しましたが、県内外から「社高」を目指して入学してきた生徒が元気いっぱい学習に部活動に励んでくれています。

元号が「平成」から「令和」に変わりました。新たな時代の幕開けです。本校も次の百三十年に向けてスタートの年であり、歴史と伝統は受け継ぎつつも、新たな時代に即した教育を展開し、グローバル社会で活躍する人材を輩出したいと考えております。また、どこへ行っても「大社高校出身です」と胸を大きく張って言える生徒づくりを心がけます。

終わりに、会員の皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げますとともに、本校への一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和元年度 いなさかい総会開催

「いなさかい総会」は今年も八月十三日(火)に左記の要領で開催されます。お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、総会の終了後、連絡バスにて島根ワイナリーへ移動し、卒業三十周年を迎えられた高校41期の皆様にお世話をいたしたい懇親会が開催されます。同期の方々はもとより、先輩、後輩の皆様と杯を交わし、楽しい歓談のひと時をお過ごしください。

総会

日時 令和元年8月13日(火)
午前10時～12時

会場 大社高校有朋館大研修室

次第

- 開会の辞
いなさかい会物故者・恩師へ黙祷
- 会長挨拶
- 校長挨拶
- 議事
 - 平成30年度会務報告、決算報告、監査報告
 - 役員改選について
 - 令和元年度会務計画・予算審議
 - 会報「いなさかい」について
 - 周年記念品贈呈、代表挨拶
- 40周年 高校31期
- 30周年 高校41期
- 20周年 高校51期

(6) 記念講演

講師：坂根厚司氏(高校31期)
演題：「北の大地から
ご縁の国を思う
～私を育ててくれた
ふるさと出雲～」

(7) 閉会の辞

～私を育ててくれた
ふるさと出雲～

懇親会

*総会終了後バスにて移動

時間 午後1時～3時30分

会場 島根ワイナリー

- 開会の挨拶
- 会長挨拶
- 幹事長挨拶(高校41期)
- 乾杯(副会長)
- 懇親会
- 来年度への引継式(高校31期代表者から32期代表者へ)
- 万歳三唱(高校32期代表)
- 閉会の挨拶



高校31期へ引き継がれた校旗

平成30年度 いなさかい総会及び懇親会報告

平成三十年度総会は例年どおり八月十三日(月)に有朋館大研修室で開催されました。初めに北島会長より、先の西日本を中心に全国的に広い範囲で記録された集中豪雨(平成三十年七月豪雨)で被害を受けられた広島、岡山ほか各地のいなさかい会員、関係者の皆様へのお見舞いが述べられ、十月に開催される創立百二十周年記念式典、事業についてのお話がありました。

恒例の記念品贈呈は、40周年の高校30期、30周年の高校40期、20周年の高校50期、それぞれの代表者によって行われ、ご挨拶があつて、会長から謝辞が述べられました。

記念講演は「人生一〇〇年の長寿時代に向けて」と題し、高校30期の安達久文氏により行われました。同氏は平成八年(一九九六)にソニー生命に入社され、以来二十三年の長きにわたって生命保険営業の仕事を経験されており、その経験の中から私たちの今後の生活設計をどのようにしたらいいのか、多くのヒントをお話しいただきました。たとえば「シニアライフのお金は四つに分けて考えましょう」では、お金を①楽しむ・趣味など充実した暮らしのための②備える・病気や介護などに備えるお金、③暮らす・衣食住に必要なお金、④のこす・大切な人のためのお金の4つに分けて考えるかどうかという提案です。詳しくは下記の大社高校のホームページをご覧ください。

午後一時から会場を島根ワイナリーに移して懇親会が開催されました。このたびは卒業30周年の高校40期の皆様ご心の中もったお世話をされ、三〇〇名近い参加者で盛り上がりました。



ご案内

- いなさかいホームページ
大社高校のホームページの中にいなさかいのページがあり、各種ご報告やご案内をしていますのでご覧ください。アドレスは <http://www.taishaed.jp/> です。
- 支部総会、同期会などのご案内もしています。いなさかい事務局までメールでご連絡ください。 taisha-inasai@goemnet.ne.jp です。
- 住所変更
本紙を正確にお届けするため、住所等に変更がございましたら左記までがきにてご連絡いただきますようお願いいたします。
〒699-0722
出雲市大社町北荒木1473
大社高校いなさかい事務局

講師紹介

さか ね あつ し
坂根厚司氏

演題

「北の大地から
ご縁の国を思う
～私を育ててくれた
ふるさと出雲～」



【プロフィール】

1961年2月5日生まれ。出雲市西神西町出身。畜産家になる夢を持ち、北の大地に憧れ帯広畜産大学畜産環境学科に入学。同大学卒業後、なぜか製パン会社に入社しコンピュータ関係を任されることに。訳あって1990年横浜のコンピュータ会社に転職し、翌年札幌営業所勤務となるも、1994年バブル崩壊のおりを受け営業所が閉鎖。そこで、当時の部下5名と(株)ナスカコンピュータを設立し代表取締役就任。現在、(株)ナスカコンピュータ代表取締役、(株)システムロード取締役会長、札幌圏情報産業事業協同組合副理事長。



講演中の安達久文氏(高校30期)

周年記念に 寄せて

卒業40周年

31期生 小田川裕一

ご縁を感じながら

計画性があるというか、心配性というか。私たち高校31期幹事会が今年の卒業40周年に向けてスタートしたのは昨年七月二十八日、本番まで一年以上ありました。事務作業一辺倒だった卒業30周年の反省を生かし、今回は懇親会からスタートしました。実は五月十九日に役員だけの懇親会で準備計画を練っていますので、かなり早い段階で動き始めたと言えます。十年前のメンバーのほとんどが今回も幹事を引き受けてくれ、役割についても理解してくれていたことは頼もしい限りでした。

今回最大の使命は、いなさ会総会での講演会のお世話です。講演講師には同期生を推すことが慣例で、その人選には重責を感じていましたが、役員会で相談するうち私たちの思いに合う人物が浮かび上がりました。それが坂根厚司君です。高校時代、

同級生に親しみを込めて「アツ」と呼ばれていた人気者です。起業当初から代表取締役を務めたその人柄は、高校時代から既に内在されていた資質なのでしょう。

今年は、平成から令和へと新しい時代が変わった記念すべき年です。話は変わりますが、私のお気に入りの『なつぞら』は「NHK連続テレビ小説」第百作目であり、平成最後かつ令和最初の朝ドラです。ここに登場する草刈正雄演じる「じいちゃん」の存在感に、いつも圧倒されます。十八歳の時に一人で十勝に入植。当時の荒れた土地を独力で開拓し酪農を始めた開拓移民という設定は、「アツ」が十八歳の時に単身北海道に渡り後に起業した姿とどこか重なります。まあ比較するには大分無理がありますが…。

平成から令和に変わった記念すべき年に周年記念幹事。朝ドラ百作目で舞台は北海道。講師は「アツ」。図ったようなこの偶然にご縁を感じるの私だけでしょうか。

最後に一言。(内村光良風のナレーションでどうぞ!!)
「アツよ、31期の仲間、お前を一人にはしないぞ。だから、この夏空に思いの丈をぶちまけろ。」



準備会に集合した
高校31期幹事会の面々

卒業30周年

41期生 神門 良博

再会を楽しむ

十年前、卒業二十周年記念の機会をいただき、同窓会を開催しました。卒業以来、初めて会う同窓生もたくさんいました。当日は久しぶりに再会し、楽しい時間を過ごせたことを思い出します。高校時代は出身中学校が同じ友人やクラスメイト、部活動の友達としか話したことがなく、同窓会に出席しても話すがいるのだろうかと不安でしたが、出席してみるとはじめて話す人もいて、出席して良かったと思えました。

その時は、我が子が小学生・中学生になり、子育ての苦労話

卒業20周年

51期生 小村 健

母校に勤務して

私は大学時代を関東で過ごしました。当時は大学卒業後も都会で働こうかと考えていました。最終的には故郷に帰る就職する道を選びました。現在は縁あって、母校で勤務させていただいています。

恥ずかしながら私は、高校時代も大学時代も母校への熱い想いというものは持ち合わせていませんでした。しかし、母校で勤務するようになり、いなさ会の大先輩方が熱い想いを持って日々学習や部活動に一生懸命取



懇親会に参加した41期生

や我が子の自慢話、夫婦の愚痴合戦では大変盛り上がりました。また、仕事の話では新しい事業を始めた話や出世した話、中間管理職の苦労話など共感し合いました。

り組んでいる生徒達と過ごすことで、自分が大社高校の卒業生であることの素晴らしさを感じるようになりました。大社高校生の明るく元気な挨拶や、盛んな部活動、有朋館で必死に勉強している姿、どれもがあの頃と変わらない母校の良さ、伝統であると感じています。

昨年母校は創立百二十周年を迎えました。私が高校三年生の時、創立百周年の記念式典が行われ、有朋館を先輩方に建てていただきました。そこで受験勉強に集中することができ、今の私があると思っています。あれから二十年、今度は私たちが母校の後輩達に何か恩返しをしなければならぬと感じているところです。

私は今、幸運にも母校で勤務



勉学に励んだ有朋館

しています。目の前の生徒達がそれぞれの目標を達成できるように、支援していくことが恩返しだと思ひ、精一杯努めていきたいと思ひます。

あれからさらに十年の時が経ち、見た目にも年を重ねました。今回も同窓会を計画しました。子供達も高校生・大学生・結婚などそれぞれのライフステージを迎えていることでしょう。中には孫ができた人もいるかもしれません。定年や退職の話も出るかもしれません。今から同窓会が楽しみです。

最後に昨年、大社高校は創立百二十周年を迎えられ、さらに今年は新しく令和の時代になりました。令和元年度いなさ会総会のお手伝いができることを光栄に思います。特に我々41期は懇親会の企画・運営を任されています。力を合わせて準備してきました。当日は賑やかな懇親会になるよう頑張りたいと思ひます。

協賛金のお礼とお願い

例年協賛金をお送りいただき、まことにありがとうございます。

皆様のお志に厚くお礼申し上げます。

本会報は皆様方からお寄せいただいている協賛金のみを運営の資金と致しております。しかし、年々協賛金が減少しており、大変厳しい状況にあります。

さらに、これまで大きめの角3封筒で送付させていただきました。郵便料金が値上がりしたため、少しでも費用を抑えたいと、郵便定形サイズの長3封筒で送付させていただきますことに致しました。

また、住所(転居先)不明により返送される会報も相当数あります。

本会の発展に寄与する本紙発行に、益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

郵便振替用紙を同封致しておりますので、一口千円から協賛金をお払い込みくださるようお願い申し上げます。

寄付金の御礼

「平成三十年度いなさ会周年記念寄付金」につきまして、高校30・40・50期の皆様より多額のご寄付を賜りました。厚くお礼申し上げます。

寄付金は有朋館の管理費、弓道場敷地費用等に有効に使わせていただきます。

母校のため、快くご寄付いただきました皆様、心より感謝申し上げます。

支部だより

東京いなさ会

会長 岩成進吉
(高校26期)

第六十三回東京いなさ会総会は平成三十年十月五日(金)に恒例の学士会館にて開催しました。今回は北島建孝いなさ会会長(高校29期)、吉田彰二校長、杉谷幸夫先生(高校32期)、大隅弘道近畿いなさ会会長(高校14期)に出席していただきました。

二校長、杉谷幸夫教諭からは「創立百二十周年記念事業」と「母校の現状」の報告がありました。本年度の講演は現在協和発酵キリン常務執行役員営業本部本部長として活躍中の杉谷浩さん(高校29期)に「会社人生をふりかえって」と題し講演していただきました。

大隅弘道会長には近畿いなさ会の状況を、岡垣克則(高校11期)さんには「古代出雲人人骨解析プロジェクト」についてお話しいただきました。

懇親会では初めて参加された方々に自己紹介を、宴の終盤では恒例の校歌・応援歌を全員で合唱し盛会のうちを終了しました。

北島会長からは町の様子やいなさ会の現状について、吉田彰

本年一月五日には多くの会員が武蔵野の森公園総合スポーツプラザに集結し女子バレー部を応援しました。

令和元年の総会は左記のように開催します。

●日時 令和元年十一月九日(土) 十一時
●場所 学士会館
お誘いあわせての参加をお待ちしています。

●連絡先 事務局 安達久文(高校30期) 電話(〇四六七)三一一四二一六



第63回(平成30年度)東京いなさ会総会

中部いなさ会

会長 飯島稔
(高校11期)

昨年度中部いなさ会総会は四十八回目を迎え、北島会長、吉田校長、杉谷先生をお迎えし、また特別参加として近畿いなさ会元会長の川上雅弘氏、出雲を郷里とし当地に在住されている方二名を合わせて総勢二十四名で開催しました。北島会長は出雲では七五三を祝う習慣が変わり四歳になると晴れ着を着て、十一月十五日に出雲大社に詣でる「紐おとし」が増えていると郷里の風習の変化について、吉田校長は十月二十日の創立

百二十周年式典が盛大に行われたことを話されました。大村さんから会計報告があり樋野さんの乾杯の音頭で会食・懇談を開始。なごやかな雰囲気の中で楽しいひと時を過ごした後、杉谷先生、糸賀さんや幹事のリードで新旧校歌や応援歌を斉唱し総会は瀧川さんの閉会の辞で終了。話し足りず、別れを惜しむ人たちが喫茶室での二次会に参加され、交流を深め、来年の再会を約束して二度目の解散となりました。



48回総会にて

●日時 十月二十六日(土)

近畿いなさ会

会長 大隅弘道
(高校14期)

平成最後の年の第九十二回近畿いなさ会総会は北島建孝会長、若林牧彦教頭先生、大島悠二郎先生、更に福代秀洋PTA会長をお迎えして開催いたしました。今回初めて女流棋士の里見香奈さんが出席してくれました。まるでアイドル扱いで写真撮影会かなと思わせるような光景で大いに盛り上がりました。この様子もホームページに載せていますのでご覧ください。

今年の講演は元高知商業監督の谷脇一夫様をお願いしました。甲子園出場を目指す心構え、対策、対応を含めた含蓄のあるお



里見香奈さんを囲んで各テーブルでの記念撮影(21期の皆さん)

今年の講演は元高知商業監督の谷脇一夫様をお願いしました。甲子園出場を目指す心構え、対策、対応を含めた含蓄のあるお

また、出席者増員を図って毎年試行錯誤をしています。今回は還暦を迎える方を参加費無料にして今後の参加に結び付ける

●日時 十一月一日(日) 十一時より

●場所 ホテルグランヴィア大阪
●講演者 山本 浩(元NHKアナウンサー・解説委員)

●連絡先 事務局 山崎素文(高校21期) 電話(〇七八)九二五七七〇

京滋いなさ会

会長 別所親房
(高校15期)

第三十八回京滋いなさ会総会を昨年四月十五日に北島建孝いなさ会会長、吉田彰二校長、杉谷幸夫教諭をお迎えし、京都ガーデンパレスで開催しました。例年の出席者に加え、新たに新卒者三名とご婦人二名の出席がありました。

大隅弘道近畿いなさ会会長のご祝辞と乾杯音頭の後に、食事、ご挨拶、歓談が続きました。北島会長様は、出雲大社の遷宮が終わりに近づいた神門通りの様子を話されました。吉田校長先生は、昨年十月の母校百二十周年記念事業の概要を紹介され、杉谷先生は、母校の進学、クラブ活動状況を報告されました。



その後、出席者全員の自己紹介があり、特に新卒者の話は、皆様に深い感動を与えました。

米子いなさ会

会長 石部裕一
(高校13期)



米子いなさ会総会にて(会員16名、来賓3名、講師の先生1名)

会場をワシントンホテルプラザ米子に移して、第五十七回支部総会と懇親会を開催した。いなさ会桑本副会長の挨拶、鳥居教頭の母校の近況報告に続き、総会議事に入った。話題は会員の高齢化と若い卒業生の参加が途絶えていることである。恒例の講演には、会長が理事長を務める博愛病院の出勤講座を注文(?)した。お題は皆の関心の高い「認知症は予防できるか。頭と体を使うパフォーマンスも有り楽しく有意義な時間を過ごした。懇親会は近況報告や懐かしい大社の話題に花が咲き、三校歌と応援歌を放歌高吟して、「フレフレ大社」のメールで締めとなった。

秋には十四名が参加して「水木しげるロードと由志園の旅」を楽しんだ。リニューアルした水木しげるロード内散策と記念館見学に続き、由志園内料亭「菖蒲」での美味しい昼食と庭園見学を堪能した。今、自宅の庭では園で買求めたボタンが深紅の花を咲かせている。

県庁いなさ会

会長 山崎泰助
(高校30期)

平成三十年度の鳥根県庁いなさ会総会は、十一月十六日(金)に松江市の「カラコロ工房・びいどろ」で、来賓の北島会長、母校の吉田校長、山上先生のご臨席を賜り、四十一名の出席により盛大に開催いたしました。総会では、母校より近況の報告を受けた後、恒例のクイズ大会「鳥根県政の平成三十年史検定試験」を今年も行い、さまざまな賞品を皆で分け合いました。今年には五名の新規採用職員が参加があり、自己紹介では先輩職員から温かいメールを送られる場面もありました。

●連絡先 石部裕一(高校13期) ishibey@chukaine.jp 又は 〇九〇一八二四五〇二二二

松江いなさ会

会長 江口博晴
(高校10期)

総会記念講演と会報発行が、松江いなさ会の大きな事業です。総会は三十三回、会報はついに三十号を重ねました。記念講演は椿一筋の研究人生を送られている金築一郎さんの含蓄に富むお話を聴きました。会報は大社高校いなさ会HPに掲載していますので是非ご覧ください。大社のあちこちに残る思い出について特集しました。全国のいなさ会会員の皆様にもきつと懐かしんでいただけると



「応援歌いちば〜〜ん 玄界灘の〜〜♪」

と請け合いです。又、今年、松江最大のお祭り日本三大船神事ホーランエンヤについての記事も掲載しました。一面もこの神事の写真です。残念ながら松江いなさ会への参加者は右肩下がりでです。このため昨年はプロジェクトチームを設け活性化について検討しました。知恵を出し合って、集まりたくなる楽しい松江いなさ会を作っていきたいと思えます。

広島いなさ会

会長 内藤秀夫
(高校14期)

広島いなさ会総会は昨年七月六日に発生いたしました西日本豪雨災害で、広島、岡山両県で多大な被害を受け開催を思案しましたが、七月二十一日に十七回の総会を予定どおり開催いたしました。被災された方々、関係された方々にあらためてお見舞いを申し上げます。さて、総会には、北島会長、吉田校長、杉谷先生にご出席いただきました。



内藤会長から平上さんへ褒章受章祝いのお花束を贈呈

皆さまから災害見舞いのお言葉をいただき、北島会長から大社高校創立百二十周年、勢溜の大鳥居建替、吉田校長からは、県総体で昨年に続く総合優勝、体育科の全国大会の開催、進路の状況等近況を含めたご挨拶をいただきました。

斐川いなさ会

会長 山崎文夫
(高校20期)

また、平上安子様(高14)が春の褒章において長年の保護者としてのご活躍により藍綬褒章を授章されました。参加者一同でお祝いし、授与式の様子やこれまでのお仕事の内容などをお話しいただきました。昨年も楽しく総会を終えることが出来ました。本年も初めて参加される方が数名いらっしゃいます。皆様のお近くに会員の方がいらつしやればお誘い合わせの上是非ご出席下さい。日時 七月二十八日(日) 十二時より 場所 広島アンデルセン ●連絡先 事務局 岸 利一(高校30期) 電話(〇八二二) 二二三一五六〇四

なお、今年の総会は四月十四日に開催し、学生四名の出席がありました。若い世代を増やすためにLINEを活用し、関西方面に来る新卒者全員には葉書と電話で案内、勧誘しました。総会の様子はFacebook京滋いなさ会を検索してご覧ください。来年度の総会は、日時・四月十二日(日) 十二時より、場所・京都ガーデンパレスで開催します。●連絡先 事務局 石川百合子(高校38期) 電話 〇九〇一八四八四一七九六三

いなさ会会報を拝見するたびに、何とかせねばと思いつつ、いつの間にか五年が経過してしまいました。白枝前会長の御指名を受け、四名の役員さんから

●事務局長 小山峰明(高校29期) 〇九〇一六八九一七三九五 幹事 山田博子(高校20期) 高橋昭夫(高校22期) 陰山健二(高校34期) 斐川町にお住まいの方、連絡をお待ちしています。

会員だより

大社町の俳句文化に触れて

上川 美 絵氏(高校25期)

私が俳句を始めたのは四十歳の頃でした。母に誘われたのがきっかけです。当時、母は「私は下手だけどね。」と言いながら俳句の指導をしていました。沢山の人たちとの出会いを大切に、出合った人を俳句の世界へ誘うのが上手な母でした。しかし、その頃の私は「なぜ年寄りのすることを私がしなくてはいけないのか。」と思っていました。

その数年後、私が大社町役場に勤めていた時、「俳句同好会のメンバーに名前だけ参加してほしい。」と誘われ何となく句会に参加し始めました。最初は漢字も読めず、意味も分からず、気持ちを含めて詠んだ句も分かってもらえず、なぜ足を踏み入れたのか悩ましい日々でした。それから、辞書と向き合い、俳句の仲間と句に込めた思いを話し合っていくうちに、十七音の魅力に少しずつ取りつかれていきました。それから、二十年以上

次、七月開催の「出雲大社俳句大会」。これは、今年で四十五回目となります。毎年百名余りの参加者が北島国造館にて盛大な句会を行います。いなさき会会長にも選句していただき国造賞を頂いています。



大社俳句大会選句の様子

選句とは、俳句会参加者のすべての俳句の中から、自分の作品以外で良いと思うものを、決められた数だけ選び出すことです。

が経ちました。今、私は、大社町俳句協会の事務局として俳句に関わっています。事務局を通して、大社町は歴史ある俳句の行事が数々あることに気づかされました。

主なものを紹介すると、まず、「大祭礼奉納俳句」があります。出雲大社大祭礼に県内から俳句を募集し、県俳句協会の会長に選句していただき奉納させていただきます。

そして、十月の「芸術文化祭たいしゃ俳句大会」。これは、今年で二十五回を迎えます。大社町の文化の向上を目指して行う勉強会のような句会です。最近テレビで有名な夏井いつき先生にも二回おいでいただきました。

大社町は、俳句の題材となる年間行事に溢れ、季節の移り変わりに目を向けると常に新しい発見があり、文化や歴史を深く感じられます。私も微力ではありますが、大社町の俳句の歴史の一端に関わらせていただいていることに深く感謝しています。

新しい時代「令和」となり情勢が大きく変わろうとしています。先人達の思いを大切に、新しい形になりました。俳句の歴史を大事に守っていききたいと思っています。

最後に母と私の俳句を載せて終わらせていただきます。

テトラポットに
愛の落書き雲の峰 みゆき

太祝詞上げ海の日を迎へけり
美 絵

もったいない

渡部 卓 史氏(高校28期)

月日の流れは早いもので、大社高校を卒業して四十三年が経ちました。

私は浜山移転前に大社高校が在った鹿城が丘近くにある、曹洞宗寺院の住職で、現在東京に在る教団の本部、曹洞宗宗務庁教育部に勤務しています。その縁で東京いなさき会に出席させて頂きました。

曹洞宗は只管打坐(ひたすら坐る坐禅)を宗旨とし、福井県の永平寺と、横浜鶴見の總持寺を両大本山とする、全国に一万五千の寺院が包括関係にある教団です。

職場である曹洞宗教育部では、僧侶分限の交付、駒澤大学をはじめ宗門関係学校との窓口、また、両大本山など全国に二十九ヶ所に設置されている認可僧堂(修行道場)の管理監督、

宗門内で行う教学関係の各種研修会を行っています。

今年度の研修会の一つに「食品ロスを考える『もったいない』の心」を学習のテーマにプログラムを組み、教化資料として「もったいない」のポスターを作製しました。

「もったいない」には、「無駄にするのが惜しい」の意味ばかりでなく、「畏れ多い・かたじけない・ありがたい」など、さまざまな意味が含まれています。曹洞宗の宗祖道元禪師は仏道修行を特別なものとせず、「修行坐臥」即ち「一日の生活そのものが修行である」と示されました。その中でも我々の命を支える「食」を重要視され、その著書「典座教訓」(典座とは禅院において修行僧の食事を掌る役僧)に食材の選び方、調理する

こと頂くこと、食事作法、食べ物を粗末にはいけないこと等を、こと細かく説かれていきます。

現在世界中で八億人を越える人々が慢性的な栄養不足、即ち飢餓の状態にあるとの報告がされていますが、しかしわが国では一年間に二八四二万トンの食品廃棄物が発生し、そのうち約六四六万トンは食べられないまま廃棄される「食品ロス」と呼ばれる食品です。

この問題は、二〇一五年に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の開発目標の一つとされています。物質が溢れて、なんでも使い捨てにする現代人。食物だけでなく総てのものに対して、「もったいない」の心、感謝の心を持ちたいものであります。

いなさき会報に寄稿することも、もったいないこととさせていただきます。

合掌



曹洞宗教化資料

企業人で大学人、 二足のわらじ

新宮 徹也氏 (高校32期)

社高を卒業して四十年、還暦まで後二年という歳になりました。現在(株)日立システムの企画部門に勤務(勤続三十三年)しながら、近畿大学 経営学部で教鞭を執らせて頂いています。企業人で大学人(兼務八年)、二足のわらじ状態です。

年連続で志願者数全国No.1になりました。呼応して学生にどんな自信が満ちて来ています。人間、注目されると士気が上がることを肌で感じていきます。私たちが教員も大変です。講義計画は事前に大学に提出し学生にわかりやすく工夫されているか等チェックを受け、受講した学生が教員の評価を(十段階)します。結果はWEB上に公表されるので教員も講義の質の向上に努力します。それらが大学の活気や学生の自信に繋がっているようです。

振り返れば教壇に立つのは三度目です。一度目は教職免許を取得し、大学を出てすぐ立ち出雲市立 大津小学校。小学四年生の担任でした。若いだけが取り柄で休み時間も放課後もとにかく児童と運動したり遊んだり。指導したサッカー部が市大会

で優勝したことも忘れられません。二度目は神戸市の親和女子高等学校。日航ジャンボ機が御巢鷹山に墜落し、この高校の先生が三名亡くなられたので、大学の指導教官から頼まれ急遽、補充で教壇に立ちました。悲しみに暮れる生徒たちの心のケアをしながらの教壇でした。そして三度目が近畿大学です。

勤務している(株)日立システムズはIT業界ならではの人手不足状態です。「働き方改革」で残業が厳しくなり生産性を上げなければ仕事がこなせません。日本は十年後八千万人のITエンジニアが不足するそうで、大学と企業が連携した人材育成が急務です。

私はもうしばらく、企業人と大学人の二足のわらじで双方に価値ある仕事ができれば、と考えています。最後にいなさかいと会員の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りします。

近畿大学は活気に満ち溢れています。世界初のマグロ完全養殖、つくろプロデュースの派手な入学式、世界大学ランクで早慶に次ぐ日本三位、ウナギ味や英語オンリーエリア設置、高いTV露出など大学ブランドの向上が強力に推進され、結果六

た出雲市立 大津小学校。小学四年生の担任でした。若いだけが取り柄で休み時間も放課後もとにかく児童と運動したり遊んだり。指導したサッカー部が市大会

た出雲市立 大津小学校。小学四年生の担任でした。若いだけが取り柄で休み時間も放課後もとにかく児童と運動したり遊んだり。指導したサッカー部が市大会

た出雲市立 大津小学校。小学四年生の担任でした。若いだけが取り柄で休み時間も放課後もとにかく児童と運動したり遊んだり。指導したサッカー部が市大会



大学の教え子たちと。ゼミの打ち上げで (筆者：後列中央矢印)

大社高等学校創立120周年記念事業の概略

(2019年6月15日(土) 現在)

1 創立120周年記念式典・講演会・演奏会 (本校体育館) および 記念祝賀会 (ラピタウェディングパレス)

(1) 記念式典 2018年(平成30年)10月20日(土) 9:30~10:15 (45分)

(2) 記念講演会 10:25~11:45 (70分)

演題「災害レジリエンス

— 防災研究から見える社会と個人 —

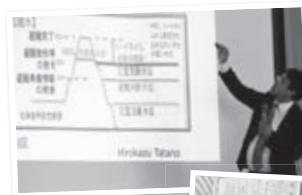
京都大学防災研究所 多々納 裕一 (たたの ひろかず) 教授 (工学博士、高校32期)

(3) 記念演奏会 12:00~12:45 (45分)

東京藝術大学 福島 明也 (ふくしま あきや) 教授 (バリトン歌手、高校28期)、
ピアノ 溝口 麻希さんと本校合唱・吹奏楽部との合同演奏会
「鳥の会」(旧職員 米山 道雄氏のコーラスグループ) とともに共演
トランペット 坂口 雄磨さん (高校55期) も友情出演

(4) 記念祝賀会 13:30~15:30 (120分)

大土地神楽 (国指定重要無形民俗文化財) 上演、DVD『鹿城丘校舎の思い出』上映など



吉田彰二校長 (第42代)



青木一彦 参議院議員 (高校31期)



大土地神楽(大黒舞)



記念懸垂幕

2 創立120周年記念関連事業 …… 学園祭 (鹿城祭) でも創立120周年記念を祝う行事等を実施

(1) 講演会 2018年9月2日(日) 9:45~11:15 (90分)、本校体育館

演題「スポーツの内なる力」法政大学スポーツ健康学部 山本 浩 (やまもと ひろし) 教授 (元NHKアナウンサー・解説委員、大社町に本籍、実父が本校出身)

(2) 創立120周年記念写真展…旧制中学校・女学校、大社高等学校 (鹿城丘校舎・浜山校舎) の写真を有朋館2階に展示

3 創立120周年記念誌と校舎内外の環境整備・その他

(1) 『大社高等学校120周年にあたって~10年間の記録~』発行 (令和元年9月完成予定)

(2) 校舎内のICT関係機器の整備を最優先し図書館など特別教室 (9教室) にプロジェクター・スクリーン・実物投影機・iPadを整備



進路状況

今春の入試において、国公立大学の合格者は現役・既卒生あわせて79名でした。現役生は広島大学、熊本大学をはじめ69名の合格者がました。特徴としては、昨年同様に四年制大学化した島根県立大学の合格者が多かったことがあげられます。次に合格者が多かったのが島根大学で、近年の地元志向の高まりを反映したものと見えます。

一方、私立大学の入試は、定員の厳格化により近年難化傾向にあります。そうした状況にあって、大社高校の生徒は着実に合格を得ることができました。最終的な四年制大学への進学者数は卒業生270名中187名で、約7割の生徒が四年制大学に進学しました。

1. 進学状況

(合格延べ数・過年度卒業生を含む)

Table with columns for 28年度, 29年度, 30年度 and rows for 大学 (国公立, 私立), 短大 (公立, 私立), 高専, 専門・各種, 合計

2. 就職状況

Table with columns for 28年度, 29年度, 30年度 and rows for 公務員, 民間事業所, 計

現在大社高校では、生徒が学習に対して主体的に取り組んでいくための授業改善に取り組んでいます。また、今後増えていくAO入試・自己推薦入試や、新しい入試制度に向けて、明確な志望理由を持つことはもちろんですが、部活動に限らず様々な教育活動に積極的に参加することが求められています。生徒がこれからも充実した学校生活を送ることができる大社高校を目指していきたいと思えます。

最終的な進学先を系統別にみると経済系、看護系が比較的多く、地域として最も多かったのは島根県内への進学で、次いで広島、近畿圏となっています。次に就職状況の内訳は、公務員が警察官、警察事務、消防、自衛官、市役所等で、民間就職は県内5名、県外1名の計6名でした。就職希望者は近年の高校生への求人増加に伴い、ほぼ希望どおりの会社や事業所に就職できています。

令和元年度 第57回島根県高等学校総合体育大会成績 (Aグループ)

…完全優勝達成 (本校史上初)

Table showing sports results for 男子総合優勝, 男子総合優勝, and 女子総合優勝 with scores and participating schools.



男子陸上競技部 総合優勝 (5年連続34回目)



女子陸上競技部 総合優勝 (10年連続28回目)



サッカー部 優勝 (12年ぶり12回目)



女子体操競技部 団体優勝 (2年ぶり47回目)



男子水泳部 総合優勝 (初優勝)



男子剣道部 団体優勝 (16年連続37回目)



女子剣道部 団体優勝 (4年連続26回目)

令和元年度 県総体を振り返って
令和元年度 県総体を振り返って
令和元年度 県総体を振り返って

令和元年度 県総体を振り返って
令和元年度 県総体を振り返って
令和元年度 県総体を振り返って

令和元年度 県総体を振り返って
令和元年度 県総体を振り返って
令和元年度 県総体を振り返って

令和元年度 県総体を振り返って

野球部 通信



五月に行われた春季大会では優勝することができました。日頃からご支援くださっている方々、球場まで応援に駆けつけていただいた方々、大変ありがとうございました。秋季大会、春季大会と二大会続けて優勝させていただきましたが、選手スタッフともに夏の選手権大会で優勝しなければ意味がないという気持ちを常にもち、練習に励んでいます。昨年、本校野球部は高校野球選手権百回記念大会に皆勤校として出場しました。甲子園では小河英一郎主将が皆勤校主将として入場行進することが決まっていました。選手たちは主将一人入場行進させまい、全員で入場行進すると意気込みましたが、惜しくも県予選で敗れてしまいました。今夏の百一回大会では、悲願を達成すべく、日頃より応援してくださる方々の思いを胸に挑戦します。

Table listing sports results from 平成三十一年度 to 令和元年度, including winners and runners-up.